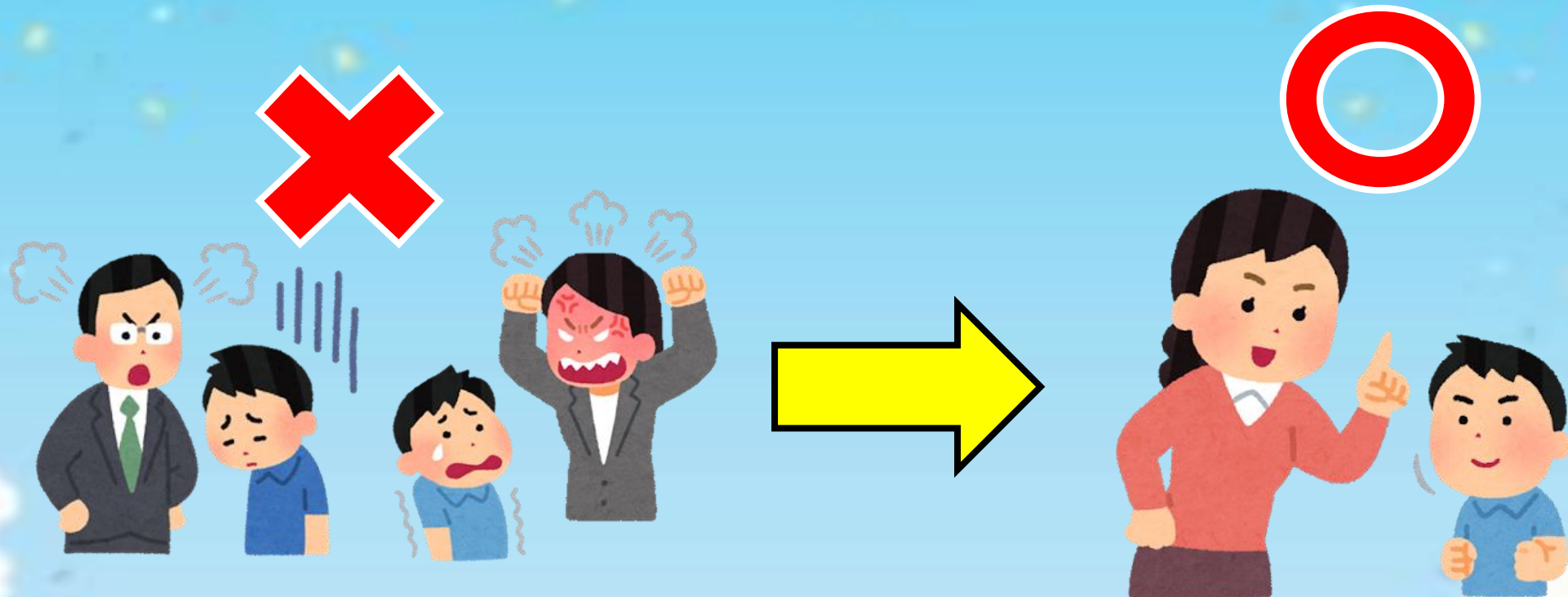


# お役立ち情報発信！！

～子どものハートをつかむ話し方編③～





第3回目は「叱り方のポイント」についてまとめました！

叱り方は本当に難しいな…と感じます。

ぜひ今回の内容を参考に見てみてください！！

# 子どもに響く叱い方 チェックリスト

## 1. 人格否定の小言を言わない



### ☆ポイント☆

言われた側はその言葉を  
忘れることはない！  
相手を痛めつける不用意な  
発言は言わない。





# 子どもに響く叱い方 チェックリスト

## 2. 叱る理由を明確にする



### ☆ポイント☆

訳も分からず叱られるのは  
一番嫌な事象。  
叱る理由を端的に・丁寧に  
伝えること

# 子どもに響く叱い方 チェックリスト

## 3. ついでにあれこれ叱らない



### ☆ポイント☆

過去のことを持ち出すのは  
疑心暗鬼になるだけ。  
目の前の事象だけ叱る

# 子どもに響く叱い方 チェックリスト

## 4. 相手の心が動く言葉を使う

あなたに期待しているから  
言うのだけれど…

そんなことするなんて  
あなたらしくないじゃない。

賢いあなたなら  
分かると思うんだけど…



☆ポイント☆

叱る前に相手に響く言葉を使うことで  
子どもも受け止めやすくなる



# 子どもに響く叱い方 チェックリスト

## 5. 子どものメンツを潰さない



### ☆ポイント☆

全体への指導と個別指導は  
分けるべし。基本的には周囲の子を  
遠ざけて1対1の指導を。





# 子どもに響く叱い方 チェックリスト

## 6. 皮肉・脅し・威嚇をしない



☆ポイント☆

皮肉や脅しは逆恨みや反抗心を生み出すだけ。





# 子どもに響く叱い方 チェックリスト

## 7. 逃げ道を用意する

アカンって分かってるやろし  
今日のところは  
大目に見ておこう…！



廊下は歩こう！

ヤバい！！先生に廊下走ってるの  
見られてしまった！でもトイレを  
我慢できなくて…今日だけ許して！



☆ポイント☆

大切なことは同じ間違いを  
起こさせないこと。  
時には大目に見る余裕と  
おおらかさを！  
追い詰め過ぎはNG！



出典はこちら！  
この本が気になる方は二職まで♪

「叱ること」はとても難易度が高いですね。大人もイライラしてしまいがちですが、その気持ちはグッと堪えて上手に叱れるようになりましょう！

(※でもイライラは溜め込まないように！放課後や休日に上手く発散を！)

